

米子市まちづくりビジョン基本計画（案）に係る提案・意見についての対応状況

資料1

基本目標	提案・意見		ビジョンへの反映状況 市の考え方
	審議会	議会	
1交通基盤の充実と人が集うまちづくり	1-1 広域的な交通基盤の整備(P15)		
	広域的な交通基盤の整備は市の権限を逸脱しているため、「広域的な交通基盤の整備に対する要望活動」とすべき		修正なし ※広域的な交通基盤の整備については、国・県が実施機関となるが、市として要望活動等、積極的に取り組む必要があると考えている。
	1-2 地域公共交通体系の確立(P16)		
		交通弱者にとっての新たな地域公共交通の確立について、計画目標③として掲げ、③の主な取組に「高齢者等の移動支援策の実施」を掲げるべき。	修正なし ※主な取組②で記載しており、全体的な公共交通の体系の構築や利用促進の中で検討していきたい。
	1-4 米子駅周辺整備の推進(P18)		
	数値目標「米子駅南北間の歩行者移動時間」について、起点が駅南側地区の5箇所、終点が駅北側として、移動所要時間差の平均を人口の加重平均で算出していると説明があったが、算定方法が分かりにくい。また、多額の事業費に対し、移動時間が4分しか短縮していないように見えるため、誤解を受けやすい。	提案意見反映	
1-4 米子駅周辺整備の推進(P18) 1-5 中心市街地のにぎわい創出(P19)			
	「1-4米子駅周辺整備の推進②米子駅周辺のにぎわい創出」と「1-5 中心市街地のにぎわい創出①駅周辺エリアの活性化」との整理が必要。1-4は交通結節点として駅周辺の窓口をいかに活用し広げていくか、1-5は中心市街地活性化のにぎわい創出、1-2が地域公共交通の確立の区別ではないか。	一部修正 ※1-5は中心市街地の活性化であり、「米子駅周辺エリア」の表現とすることで、1-4「米子駅周辺」との区別をする。	
2市民が主役・共生のまちづくり	2-2 公民館を拠点とした地域づくりの推進(P21)		
		③地域づくりの推進に、担い手の育成と、民間の力や地域の高校生など若い力の活用などを盛り込んでどうか。	修正なし ※地域により状況が異なり、担い手の育成や若い世代の参加も含めて、協議をすすめていくべきと考える。
	2-3 地域福祉活動の推進(P22)		
		包括的相談支援体制の構築だけでは分かりにくい。具体的なところを記載して欲しい。	提案意見反映
	2-4 障がい者（児）福祉の充実と共生社会の実現(P24)		
	障がい者の成年後見制度利用の申立の件数はわずかで、実際は高齢者の認知症の方のケースが多いが、そのことに関する記述がない。	提案意見反映	
	数値目標が成年後見制度利用の申立件数とするのは違和感がある。相談対応件数の方が行政としての目標としてふさわしいのではないか。	修正なし ※市が直接支援しない方も含めて、全体として利用が増えることが重要であると考えている。	

基本目標	提案・意見		ビジョンへの反映状況 市の考え方
	審議会	議会	
2市民が主役・共生のまちづくり	2-5 互いの人権を尊重し合うまちづくりの推進(P25)		
		人権課題は同和問題だけでなく、様々な課題があると思うが、例示で「同和問題」の記載が多い印象。表現について検討されたい。	提案意見反映
	2-6 男女共同参画社会の形成(P26)		
	女性の参画が不十分と感じる。ダイバーシティ化を視野に入れた政策を反映して欲しい。		提案意見反映
	女性は家庭や地域の中で息苦しさを感じており、地域や家族の中でさえ発言しにくい環境にある。女性の声を拾うためにも、LINEなどで行政と市民が直につながる仕組みを活用してはどうか。		主な取組をすすめる中で検討
3教育・子育てのまちづくり	3-2 待機児童の解消と子育て支援の充実(P32)		
		保育士が不足しており、待遇改善をしながら保育士を増員していく必要があり、記載して欲しい。	提案意見反映
		保育士の確保について、「事務負担軽減などの処遇改善」「保育士の研修機会の充実等による保育の質の確保」の例示の表現が不適切ではないか。保育士確保、質の確保につながる例示の表現の検討が必要。	
	3-6 児童・青少年の健全育成(P36)		
	「貧困の状況にある子ども」の表現について、そのような子どもに特化して、という意味だと思うが、すべての子どもがそういうことがないように環境づくりを整備するなどのやわらかい表現にした方が良いのではないか。		提案意見反映
	子どもの貧困の大きな原因の一つである、女性の雇用条件や雇用環境の問題の解消について、指定管理や補助金交付の条件としてジェンダーギャップ改善度を加えるなどの政策をしてはどうか。		主な取組をすすめる中で検討
	希望する人（女性）には、男性同様の雇用環境が与えられるべき。		主な取組を進める中で検討 ※4-4雇用の安定と確保①就労支援の促進「企業や国・県・学校関係者等の雇用対策関係機関との連携強化による就労支援の充実」でも記載している。
	③のなかに、就学援助を記載すべき。	提案意見反映	

基本目標	提案・意見		ビジョンへの反映状況 市の考え方
	審議会	議会	
4地産外商・所得向上のまちづくり	4-1 地元企業の振興と地域産業の活性化(P41)		
		地産外商の促進について記載されているが、地域内での消費を地産地消も重要であり、記載すべきである。	修正なし ※地産地消は引き続き取り組んでいくが、人口減少社会の中、今後国内消費が縮小していくことが想定され、地域産業の活性化を考えると、外への販路開拓について新たに取り組んでいく必要があると考えている。
		中小企業振興条例策定とアクションプランについてビジョンに明記すべき。	修正案検討中
	4-4 雇用の安定と確保(P41)		
	「求職者」に限定することなく、子育てや介護等で求職しておられない方々にも就労機会の情報提供を実施することで、働く場との繋がりをもち続け、これらの方々が円滑に働く場へ復帰する後押しになると考える。		一部修正
	高齢者の就労促進のためのスキルアップ支援があれば主な取組に記載すべき。	修正なし ※主な取組②「高齢者の就労支援のためのマッチング機能の強化と取組の拡大」文中の「取組の拡大」の一つと考えており、改めての記述はしないこととする。	
4地産外商・所得向上のまちづくり	4-9 次世代につなぐ農業の推進(P46)		
		地産地消についてもっと打ち出すべき。主な取組に記載して欲しい。	修正なし ※現状と課題「地産地消の促進」を記載している。
	家族農業の10年といわれている。家族農業について記載が必要。	修正なし ※国の方針に基づき当然取り組むべきものと認識しており、それを踏まえて農業を維持し、次世代につなぐための課題を掲げて記述していることから、改めての記述はしないこととする。	
5歴史と文化に根差したまちづくり	5-2 芸術文化活動の推進		
		①芸術文化を鑑賞できる機会の充実とにぎわいの創出に「文化施設等を活用した・・・」と記載されているが、ハコモノを利用するだけでなく、空き店舗や道端等で活動できる活動者もいる。	提案意見反映
	5-3 淀江地域における歴史・地域資源の活用(P54)		
	主な取組に「名水」の保全を入れるべき。	一部修正 ※名水などの地域資源の活用を追記	
6スポーツ健康まちづくり	6-4 介護予防・フレイル対策の推進(P59)		
	介護予防について、米子市は広報よなご12月号で認知症の特集をしており、成年後見も踏まえて内容を盛り込むべき。実際に高齢になるにつれて生じる障害をもっと記載するべき。		一部修正 ※介護予防等について追記